

平成30年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証シート

全体の概要

豊里小学校	小学校	児童数	104
-------	-----	-----	-----

平均値

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	16.82	15.23	30.08	37.40	47.48	9.44	139.23	20.08	49.35
大阪市	16.50	19.30	32.69	39.78	49.39	9.37	149.73	21.98	52.80
全国	16.54	19.95	33.31	42.10	52.15	9.37	152.24	22.15	54.21
女子	15.98	12.76	34.17	32.24	29.39	9.87	130.07	12.00	47.21
大阪市	16.06	18.33	37.25	37.99	39.25	9.63	142.67	13.71	54.45
全国	16.15	18.96	37.62	40.32	41.88	9.60	145.94	13.77	55.90

結果の概要

男子において、握力のみ全国・大阪市平均を若干上回っているが、その他の上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げの項目で、全国・大阪市平均を下回っている。

女子においては、全ての項目で全国・大阪市平均を下回っている。

体力合計点においても、男女とも全国・大阪市平均には届いていない。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

【取組】

本年度から本校では、全てのスポーツの基礎である「走ること」と「柔軟性」に着目し、「50m走」及び「長座体前屈」の記録を重点的に向上させることを目標とした。そのために従来から行っている「豊里サーキット」、「なわとびギネス」、「耐寒かけ足タイム」に加え、年間を通じて次の取組を実施した。

①走力や柔軟性を向上させる運動を取り入れたオリジナル体操「豊里エクササイズ」を作成し、全校で体育の時間に取り組む。

②体育主任を中心としたスポーツテスト研修会を開き、記録が伸びる指導方法を各学級に伝達。

③学校全体での遊びを計画、実施したり、学級で出来る多様な遊びを職員会議等で提案。

【成果】

本年度も運営に関する計画の中で、体育活動を充実させ、学校生活の中で運動に親しむ機会が増えてきた。また、体育部からの様々な提案で、児童は楽しみながら着実に体力をつけてきている。

【課題】

昨年に引き続き、児童は体育の授業を楽しいと感じ、運動量も豊富であると感じている。しかし、それが、運動能力の向上につながっていない。自分自身の目標設定を明確にし、意欲をもって楽しみながら

取り組むことで運動能力の向上に努めていく

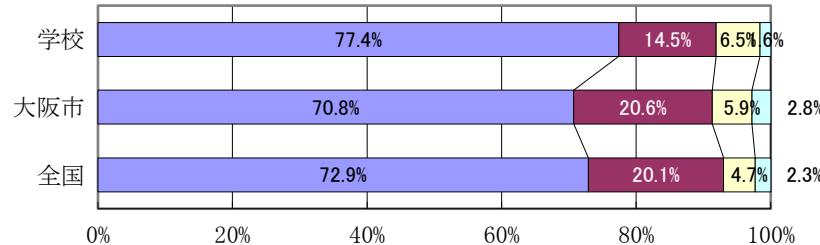
また、本校独自の取組である豊里エクササイズを更にブラッシュアップし、簡単に行え、より効果の高いものにして

運動やスポーツについて（男子）

質問番号	質問事項
------	------

1

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすること好きですか



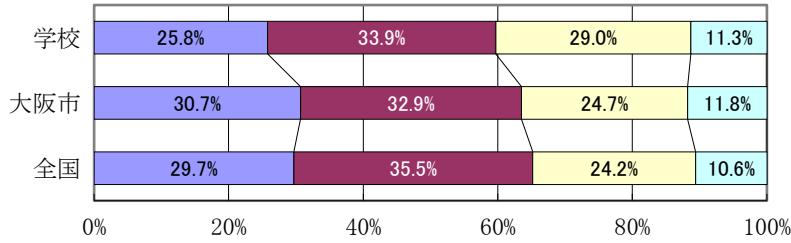
2

小学校入学前は体を動かす遊びが好きでしたか



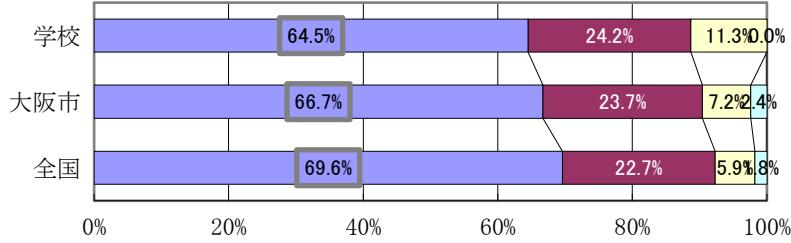
3

自分の体力・運動能力に自信がありますか



4

あなたにとって運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツは大切ですか



成果と課題

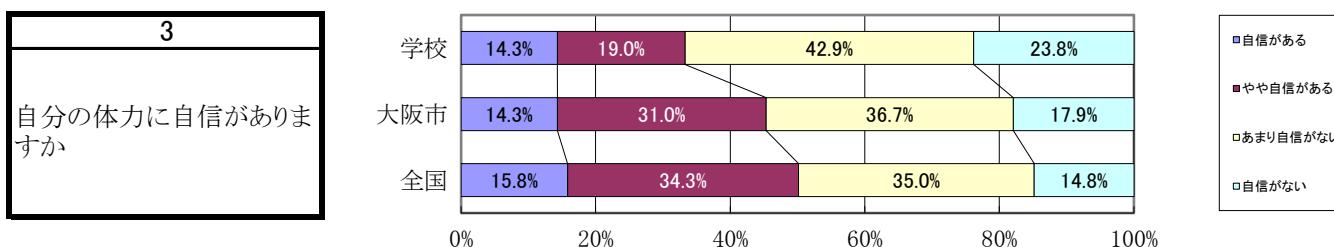
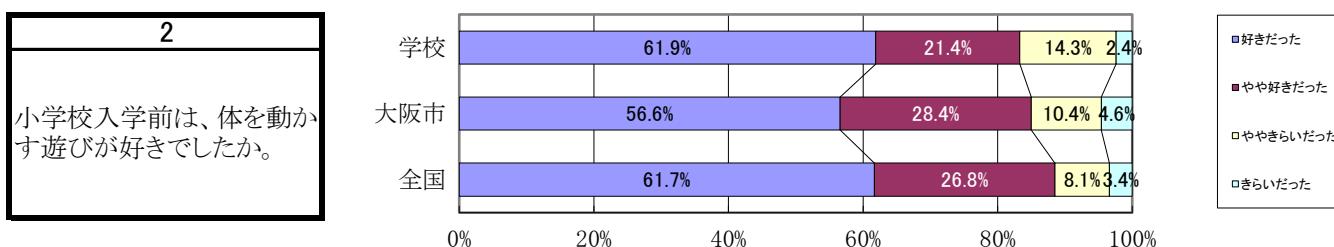
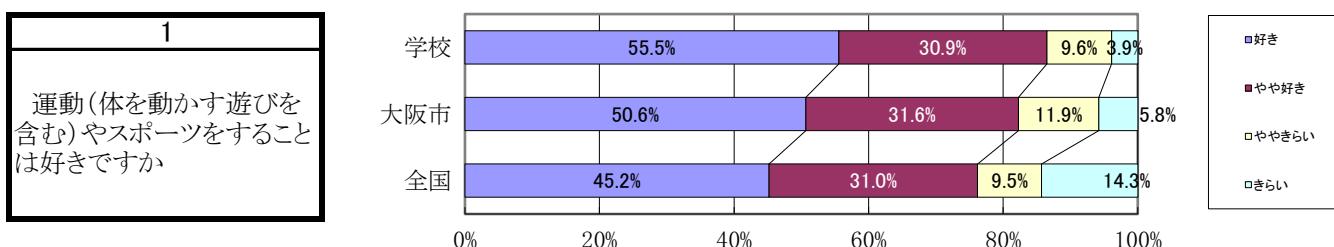
アンケート問1、2の結果から、本校の男子児童は運動やスポーツをすることが好きな子どもが全国・大阪市の平均と比べて非常に多いことがわかる。これは、多種多様な学校遊びを提案したり、なわとびカードや上り棒カードをはじめとして様々な運動を意欲的に行えるよう環境を整えてきた成果であると考えられる。しかし、運動が好きであるにもかかわらず、体力や運動能力には自信が無いこと、運動が大切であるという意識が低いこと、が課題としてあげられる。

今後の取組

運動への自信や意識の低さをみると、運動が好きであっても必ずしも運動習慣に結びついているわけではないことが分かる。今後は運動が好きであるという気持ちを、本校従来の取り組みで後押しし、更に運動への自信や意欲にも結びつけられるようにしたい。そのために、体育を中心とした運動を行う時間に、児童それぞれに合った目標を設定し、達成感を感じさせることが重要であると考える。

運動やスポーツについて（女子）

質問事項



成果と課題

男子と同様、アンケート問1、2の結果から、本校の女子児童は運動やスポーツをすることが好きな子どもが全国・大阪市の平均と比べて非常に多いことがわかる。加えて運動やスポーツが嫌いと答えた児童の割合も非常に低い。

これは、多種多様な学校遊びを提案したり、なわとびカードや上り棒カードをはじめとして様々な運動を意欲的に行えるよう環境を整えてきた成果であると考えられる。しかし、運動が好きであるにもかかわらず、体力や運動能力には自信が無いこと、運動が大切であるという意識が低いこと、が課題としてあげられる。

今後の取組

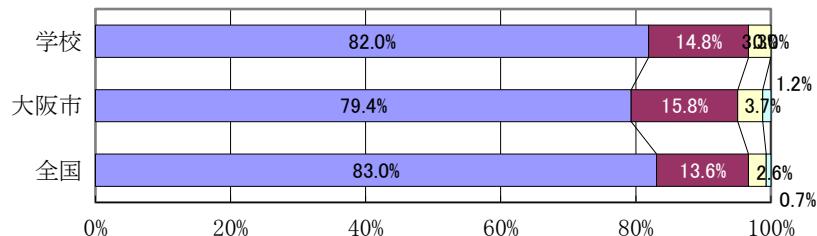
運動への自信や意識の低さをみると、運動が好きであっても必ずしも運動習慣に結びついているわけではないことが分かる。今後は運動が好きであるという気持ちを、本校従来の取り組みで後押しし、更に運動への自信や意欲にも結びつけられるようにしたい。そのために、体育を中心とした運動を行う時間に、児童それぞれに合った目標を設定し、達成感を感じさせることが重要であると考える。

ふだんの生活について（男子）

質問番号	質問事項
------	------

7

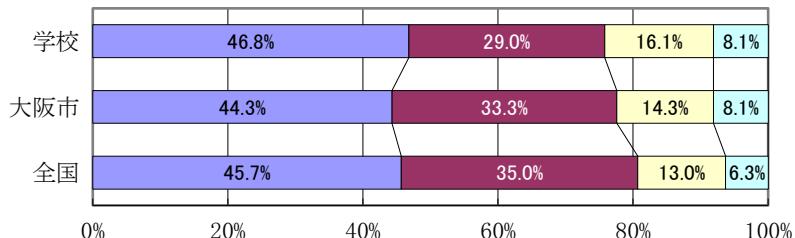
朝食は毎日食べますか(学校が休みの日もふくめます)



- 毎日食べる
- 食べない日もある
- △食べない日が多い
- ◆食べない

12

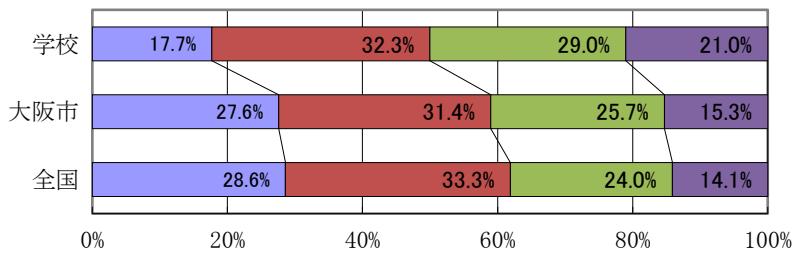
放課後や学校が休みの日に、運動部や地域のスポーツクラブ以外で、運動(体を動かす遊ぶをふくむ)やスポーツをすることがありますか。



- よくある
- ときどきある
- △あまりない
- ◆全くなき

14

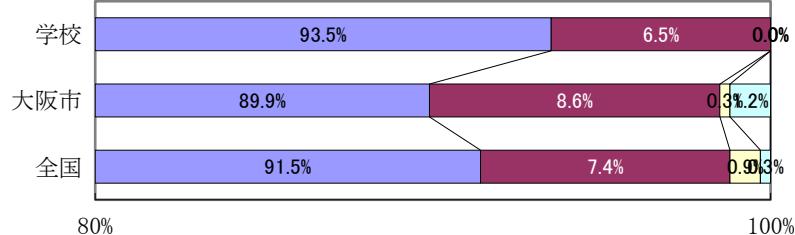
家人の人から運動やスポーツを積極的にすすめられることがありますか。



- よくある
- ときどきある
- △あまりない
- ◆全くなき
- ◆

16

あなたが健康でいるために次の3つは、どのくらい大切だと考えていますか。Q16.食事をしっかりと取ること。



- 大切
- やや大切
- △あまり大切ではない
- ◆大切ではない
- ◆

成果と課題

アンケートの結果によると、毎日朝食を食べている男子児童は82%と大阪市の平均を上回っていて、食べないと答えた児童は一人もいないことが分かった。更に、食事をしっかりとることが大切であると答えた児童の割合も非常に多かった。このことから、食事への意識が高く、朝食を食べる習慣ができているといえる。

放課後や学校が休みの日に運動部や地域のスポーツクラブ以外で、運動やスポーツをすることがある児童は大阪市・全国に比べて多い割合であるといえる。しかし、それは児童の自主性に依存したもので、家人の人から運動やスポーツを積極的にすすめられることは少ない。

今後の取組

毎日の学校給食の中で、食の大切さについて伝え、家庭には給食だよりや食育だよりを月に一回配布し、食への関心を高めたい。また、東淀川区の栄養教育推進授業を活用し、児童に専門的な立場から栄養について指導をしてもらっている。今後も、家庭と連携しながら取り組みをすすめてきたい。

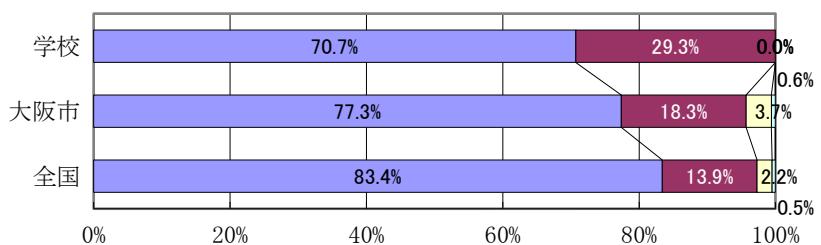
校区内には安全に遊べたり、自由に遊べる場所が少なく家の人も積極的にすすめることがない放課後校区内で遊んでいる児童は少ない。そこで、学校では放課後に校庭を開放し、運動できる場をつくってきた。今後も出来る限り積極的に運動する環境を整えていきたい。

ふだんの生活について（女子）

質問番号	質問事項
------	------

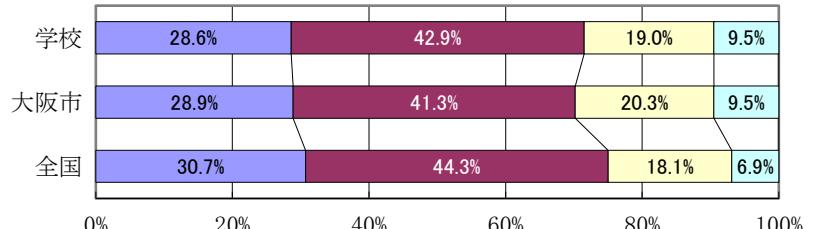
7

朝食は毎日食べますか(学校が休みの日もふくめます)



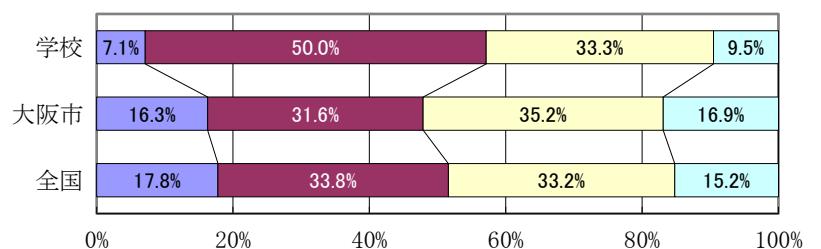
12

放課後や学校が休みの日に、運動部や地域のスポーツクラブ以外で、運動(体を動かす遊ぶをふくむ)やスポーツをすることがありますか。



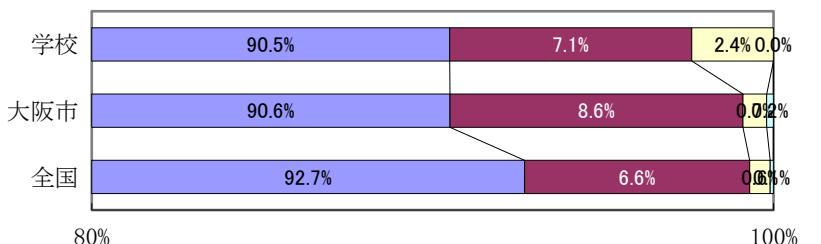
14

家人の人から運動やスポーツを積極的にすすめられることがありますか。



16

あなたが健康でいるために次の3つは、どのくらい大切だと考えていますか。
Q16. 食事をしっかりと取ること。



成果と課題

女子は男子と異なり、毎日朝食を食べる習慣が全国・大阪市の平均より低く、食事をしっかりとることが大切であると答えた児童も男子に比べ大阪市平均と同程度と低かった。このことから、朝食を食べる習慣ができておらず、食への関心も低いといえる。

放課後や学校が休みの日に運動部や地域のスポーツクラブ以外で、運動やスポーツをすることがあると答えた女子児童の割合は全国平均に比べると少なく、大阪市平均と同程度である。、家人の人から運動やスポーツを積極的にすすめられると答えた児童の割合は大阪市平均と比べても非常に少ない。

今後の取組

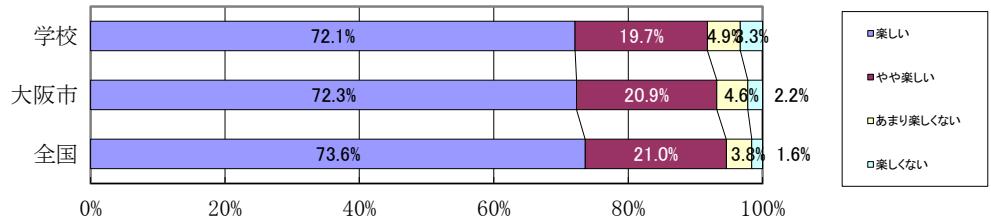
毎日の学校給食の中で、食の大切さについて伝え、家庭には給食だよりや食育だよりを月に一回配布し、食への関心を高めたい。また、東淀川区の栄養教育推進授業を活用し、児童に専門的な立場から栄養について指導をしてもらっている。今後も、家庭と連携しながら取り組みをすすめてきたい。

校区内には安全に遊べたり、自由に遊べる場所が少なく家の人も積極的にすすめることがないの放課後校区内で遊んでいる児童は少ない。そこで、学校では放課後に校庭を開放し、運動できる場をつくってきた。今後も出来る限り積極的に運動する環境を整えていきたい。

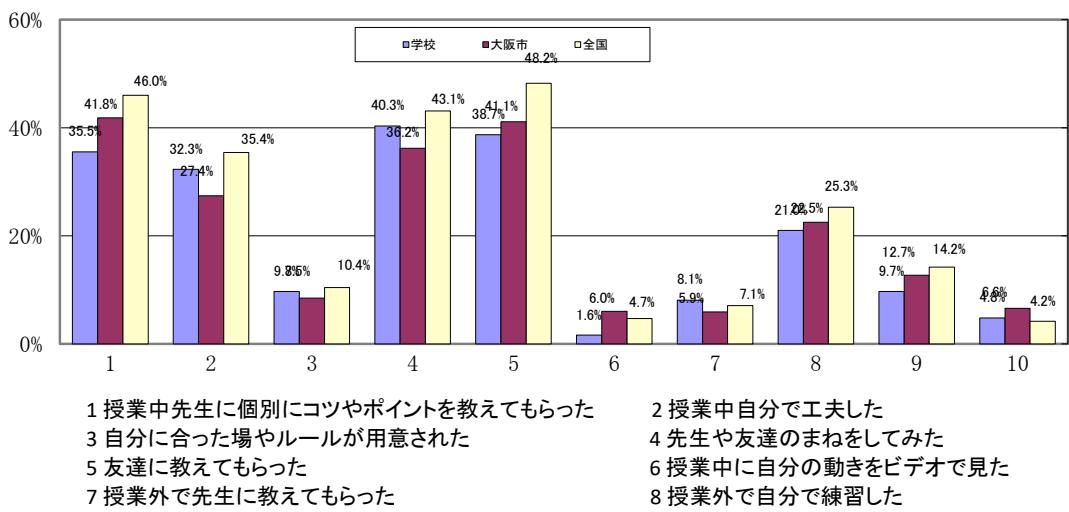
体育の授業について（男子）

質問番号	質問事項
------	------

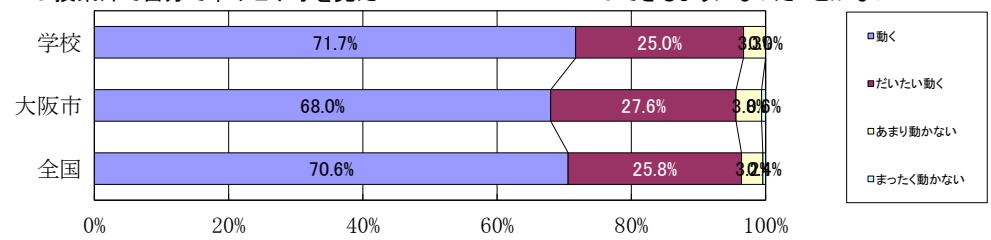
18
体育の授業は楽しいですか



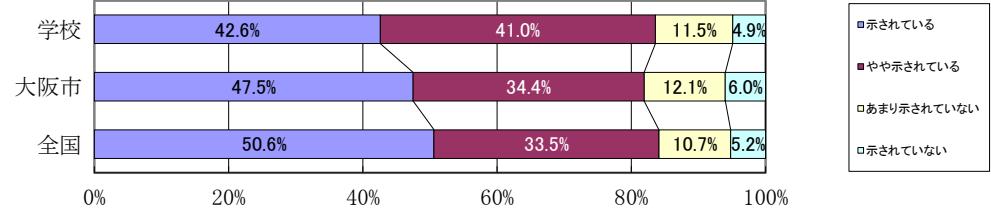
25
これまでの体育の授業で「できなかつたことができるようになった」きっかけ、理由はどのようなものがありましたか



19
体育の授業では、たくさん動きますか。



20
ふだんの体育の授業では、授業の始めに授業の目標（目当て・ねらい）が示されていますか。



成果と課題

授業の始めに目標を持たせ、終わりに振り返りをすることで、授業への意欲を高めることができた。できないことを挑戦し、できるようになったことへは友だちの影響が強かった。活躍できる場を増やし楽しいと思わせることが課題である。

今後の取組

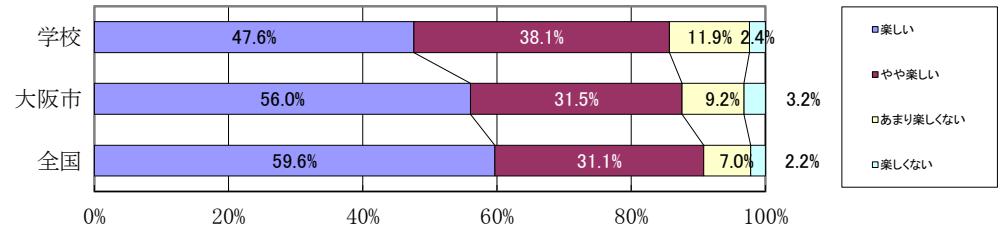
授業の目標と振り返りをもっと徹底していく必要がある。授業の目標値を高くせず、どの子もクリアできるような目標にし、自信を持たせ、楽しく取り組めるようにしていく。

体育の授業について（女子）

質問番号	質問事項
------	------

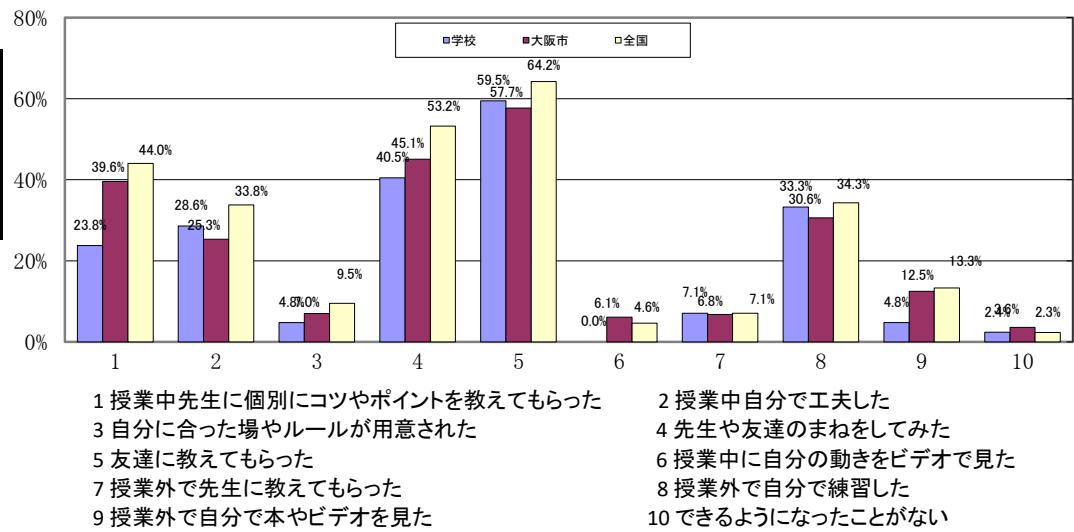
18

体育の授業は楽しいですか



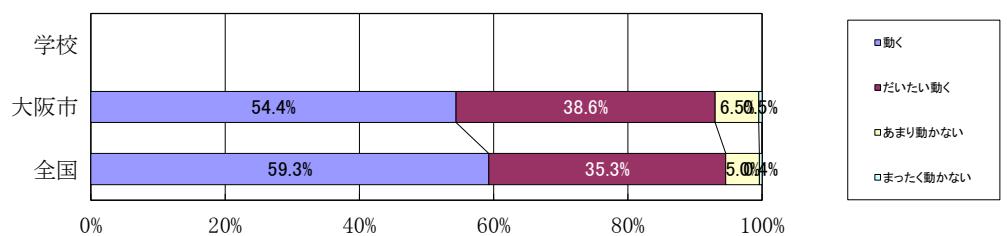
25

これまでの体育の授業で「できなかつたことができるようになった」きっかけ、理由はどのようなものがありましたか



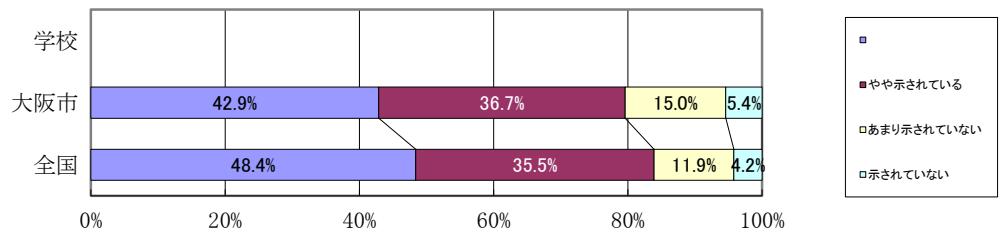
19

体育の授業では、たくさん動きますか。



20

ふだんの体育の授業では、授業の始めに授業の目標(目当て・ねらい)が示されていますか。



成果と課題

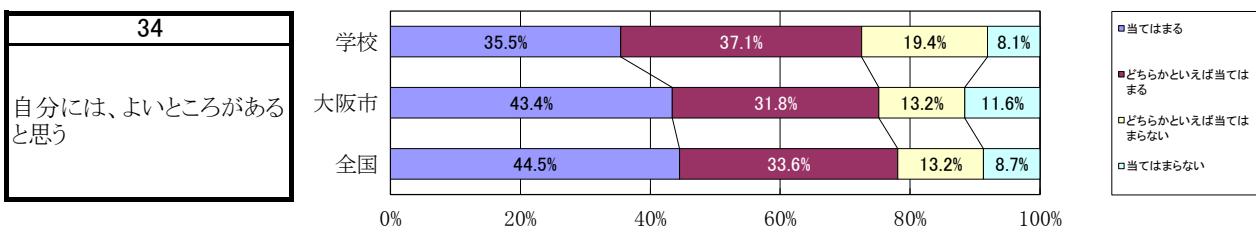
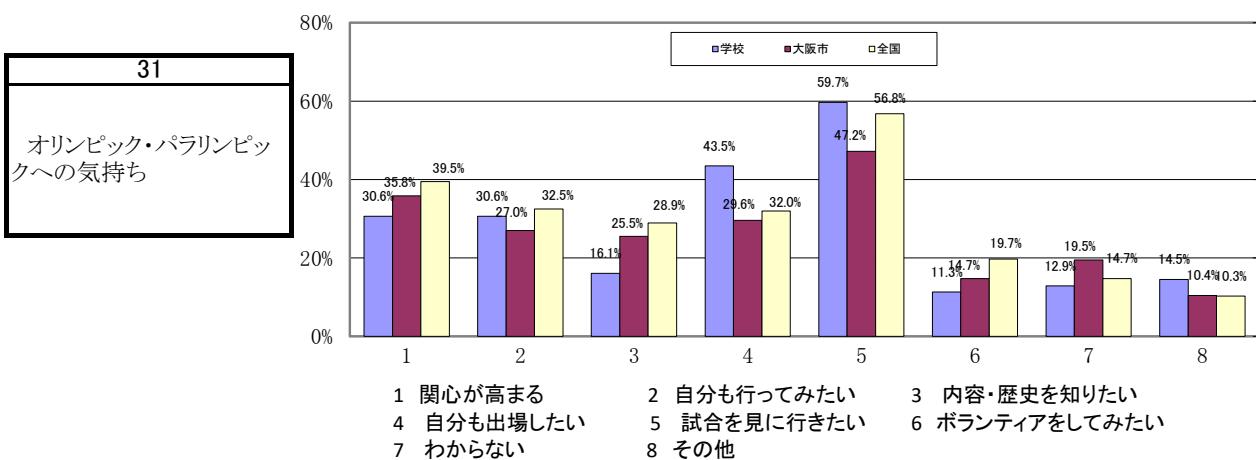
体育の授業で、友だちとの関わりが高いことがわかる。
活躍の場が少ないことが楽しいと答える子が少ない原因だといえる。

今後の取組

ICT機器(タブレット)等を使い、自分の動きを確かめたり、できる子の動きを確認したりするようにして、目標を持たせるよう

その他（男子）

質問番号	質問事項
------	------



成果と課題

31. 関心が高いのは、一番にメディアでの取り上げが高いから、又、来年日本での開催が決まっていることやマスコットの投票
を中心としたことが、オリンピックを感じたと考えられる。
34. 自分への自信を持てる場が少ないことが課題である。

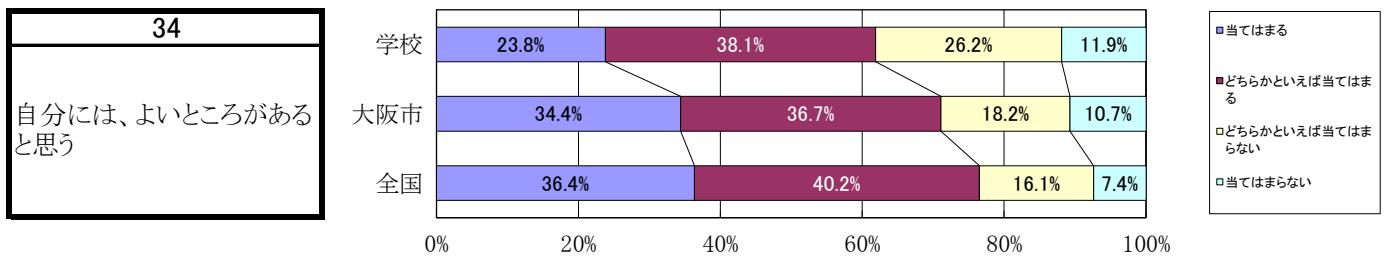
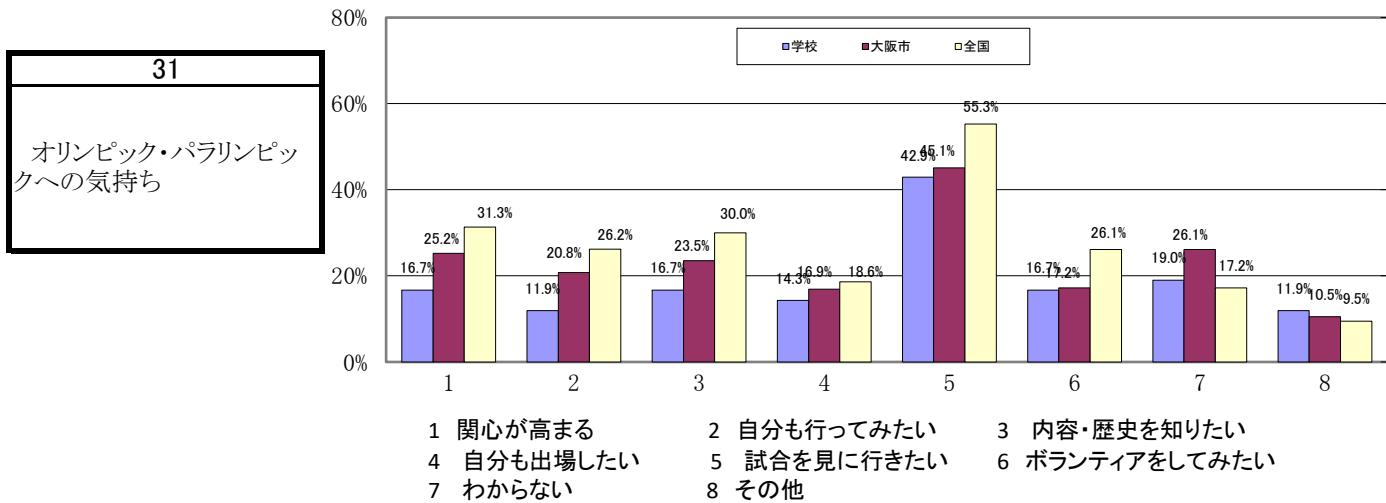
今後の取組

31. 来年の東京五輪を含め、過去の五輪選手の話題を話せる場を作る。道徳科の中にもオリンピックの話があるので、その中でふれていく。
34. 友だちの良いところを見つけ、伝え合う場を設定し、他からみた自分の存在を気づかせ、自信を持たせるようにする。

:

その他（女子）

質問番号 質問事項



成果と課題

31. 関心が低いのは、ここ最近で金メダルをとっているのか男子選手が多いところがメディアで取り上げられている。関心が低いので、見に行きたいと答える子も少ない。
 34. 自分の気持ちや、自信を持ったり、気付いたりする場が少ない。

今後の取組

31. オリンピックに関しての歴史や、海外の国の話などを授業等でふれていく。(ボランティアの仕事など)
 34. 友だちの良いところを見つけ、伝え合う場を設定し、他から見た自分への存在を気づかせ、自信をもたせるようにする。